

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2017年6月1日

No.17

鉄道事業黒字達成は組合員の努力の結果だ！ 今年度も計画は達成している！出せない根拠はない！

～2017年度 夏季手当第3回交渉報告～

中央本部は、本日10時30分より第3回夏季手当交渉を行ない、組合要求の根拠を主張しました。

【要求の根拠】

- ①前年度決算において必達目標であった鉄道事業部門の黒字化を達成した。また経常利益も88億となり、今までにない最高益を達成する結果となった。この成果は貨物労組組合員が3年間、額に汗し、時には血を流してきた結果であり、組合員の努力がなければ達成しなかったものである。したがって要求額は昨年よりも増額とした。
- ②会社は「新中期経営計画2021」を策定し、多少の景気変動があっても、その持続的な確保を目指すとしているが、計画目標達成のために人件費削減は絶対に許すことは出来ない。
- ③我々は18年連続のペアゼロや低額の諸手当などにより組合員の賃金は物価上昇に伴い、可処分所得が目減りする。会社は業績給としているが組合員にとっては極めて生活給であり、誠意ある回答を示すこと。
- ④5月現在までの収入動向は対計画を達成しており、組合員は夏季手当に期待をしている。したがって出せない理由はないことを強く主張する。また、新たな自立を目指した経営計画を建てたことによって、要求額に答えられないということは断じて認められない。

【要求の根拠に対する会社の考え方】

- ①昨年度決算において鉄道事業部門の黒字が達成でき、過去最高益となったことは社員の頑張りの結果であるということは認識している。しかし第1回目交渉においても示しているが、今年度は線路使用料や電力費の増加が見込まれている。
- ②平成29年度は平成28年度よりも厳しい状況が見込まれている。したがって慎重に判断をしていかななくてはならない状況であるが、組合からの指摘について社内で議論し、次回交渉で会社の考え方を示したい。

会社の考え方に対し、中央本部は以下のように指摘しました。

- ①本日から就職活動がスタートした。企業として選択される会社にするためには今夏季手当は誠意ある回答を示すべきである。
- ②事業計画において収支改善目標を掲げているが、人件費を抑制することでの計画達成は絶対に認められない。また黒字の達成で一時金の3万円が支給されたが、これでお茶を濁すことは絶対に許すことができない。
- ③経営陣は最大の課題であった鉄道事業部黒字目標の達成で、浮かれているように感じる。現場で汗を流して頑張った人がいて達成することが出来たという姿勢をもって回答を示すべきである。
- ④今年度になり生活するために必要な生活用品や食品などの物価は上昇している。夏季手当は18年連続のペアゼロなどで賃金は物価レベルの到底達していない。
- ⑤収入計画においては順調に推移している。したがって「要求額に答えられない理由はない」ことを再度主張する。回答指定日に誠意ある回答を示すことを強く求める。

夏季手当獲得闘争は本日より闘争ゾーンに入ります。職場から創意工夫した取り組みを追求して、全組合員が結集した運動をつくりだしましょう。中央本部はその最先頭で奮闘していくことを申し上げ第3回交渉報告とします。

次回、第4回交渉は、6月8日（木）です。